

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	750	課コード	0604	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	若松第1～第5排水区の整備		実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	建設部・治水課					
	③事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> その他 ( )			④対象地区	<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	令和3年度～令和5年度			⑥担当職員数	8人 (換算人数) 1.13人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,120,000千円		当該(開始)年度	(当初)	159,257千円 (うち人件費 10,057千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 都市排水施設の整備				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	若松地区の浸水被害を軽減させる。								
(3) 事業内容	内容	若松地区は、地盤が低く手賀沼との水位差が少ないため、内水が円滑に排除されず、頻りに浸水被害が発生している。浸水被害対策は、5箇所の樋管の築造に合わせ、低段地区は、ポンプ・自然排水併用として、ことから、4箇所のポンプ場を改修し、高段地区は、自然排水としていることから、手賀沼に直接排水する専用の雨水管（バイパス管）を布設する。また、千葉県における手賀沼湖岸堤の工事に合わせ、樋管の管理橋及び護岸の整備を行う。			当該年度執行計画	R3.8～R4.3：雨水管布設（4-3工区） R3.9～R4.3：樋管部管理橋設置（第4樋管、第5樋管） R3.9～R4.3：樋管部護岸整備（第4樋管、第5樋管） R2.6～R2.10：舗装本復旧工事（4-1・4-2工区） R2.4～R2.8：家屋事前調査（4-4工区） R2.4～R2.8：家屋事後調査（4-1工区・4-2工区）								
		当該年度活動結果指標	雨水管布設工事の施工延長	単位	m	想定値	134	実績値						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	雨水管布設工事を行う				直接	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）		%	65	75				
令和4年度	雨水管布設工事を行う				直接	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）		%		85				
令和5年度	雨水管布設工事を行う				直接	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	雨水管布設工事は住宅地内での施工であり、同一地区内で複数工区の施工となることから工事による影響が大きいと危惧される。このことから若松の住民や水害対策委員会との綿密な調整が必要となる。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*: バイパス管工事(4-2工区) (補助対象)	82,200	*: バイパス管工事(4-3工区) (補助対象)	15,000	*: バイパス管工事(4-4工区) (補助対象)	87,600	*: 道路復旧工事(4-4工区) (起債対象)	10,500	*: 道路復旧工事(4-4工区) (起債対象)	10,500			
		*: 樋管部管理橋1.2 (補助対象)	16,600	*: 樋管部管理橋4.5 (補助対象) (負担金)	21,000	*: 樋管部管理橋3 (補助対象) (負担金)	12,300	*: 家屋事後調査(4-4工区)	10,000	*: 家屋事後調査(4-4工区)	10,000			
		*: 付帯工事(4-2工区) (起債対象)	48,000	*: 付帯工事(4-3工区) (起債対象)	21,300	*: 付帯工事(4-4工区) (起債対象)	30,400	*: 家屋補償費算定(4-4工区) (起債対象)	12,000	*: 家屋補償費算定(4-4工区) (起債対象)	12,000			
予算(決算)額	合計		256,500	合計	149,200	合計	193,800	合計	38,500					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	49,400	補助率	50%	38,500	補助率	50%	0				
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	起債	充当率	100%	186,500	充当率	100%	101,800	充当率	100%	28,200				
	一般財源			0			0			0				
その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他		20,600	■特会 □受益 □基金 □その他		8,900	■特会 □受益 □基金 □その他		8,200	■特会 □受益 □基金 □その他		10,300		
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.29		1.13		1.29		1.29						
	正職員人件費	11,223		10,057		11,481		11,481						
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	267,723		159,257		205,281		49,981							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,599.25千円/m		1,188.49千円/m											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	若松地区の沼側の区域は、地盤が低く排水路の放流先となる手賀沼との水位差が少ないために、自然流下することが困難になり大雨の度に頻りに浸水被害が発生している。排水ポンプは完成したが、若松地区の5年確率降雨に対応するバイパス管の整備も必要不可欠であり、建設することで浸水被害が大幅に減少すると推測される。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				○市実施の具体的な内容・必要性の理由	○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) <input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画あり <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし				工夫の具体的な内容				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要	
	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮	○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率 (%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	65	75	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	(f/b) × 100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <削減の内容>		実績値(g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要		
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値 (%)		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	6.28	単位	費用単位	<input type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input checked="" type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	(h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------